令和6年度　福祉サービス部会　活動報告

令和7年6月26日
岡山市障害者自立支援協議会

1　部会活動

☑部会開催回数および開催日

・12回開催（4/23,5/28,6/25,7/23,8/27,9/24,10/22,11/26,12/24,1/29,2/25,3/25）

☑参加機関

・各地域部会（中央北、東部、南西）からの代表者

・救護施設　浦安荘　　・岡山市障害者基幹相談支援センター

・オブザーバー　岡山市障害福祉課

2　活動の内容

☑地域課題の抽出～整理～調査、研究を適宜実施

☑課題解決に向けた方策の検討

☑社会資源の開発や改善に向けた提言等

☑他部会、WGとの連携

☑ 就労継続支援B型事業所創設の企画

☑日中サービス支援型GH評価票の見直し

☑サービスの質向上に向けた研修会の企画（共同生活援助事業所対象）

３　就労継続支援B型事業所連絡会設立に向けた取り組み

〇参加機関：（社福）浦安荘　（社福）育成会
（社福）弘徳学園　（社福）泉学園　より各１名

〇開催日・内容

5/23：全体会の開催　（in福祉交流プラザ旭東）

6/25：全体会振り返りと今後について(障害福祉課の参加あり)

7/23：GW型フォーラム（8/6）に向けて障害福祉課と協働企画会議

9/24：GW型フォーラム振り返りと今後について

12/6：就Bランチ見学会(１２/６)の開催

2/25：就Bランチ見学会の振り返りと今後について

就B連絡会全体会　5/23

〇福祉交流プラザ旭東

〇13：30～15：00

〇参加者　３３名＋障害福祉課

〇各事業所の近況や作業状況について

〇連絡会で企画・実施・望むこと

事業所見学ランチ会　12/6

〇西南仲よし

〇障害者デイセンターさくら（CAFÉつみ木）

〇参加者　１８名（障害福祉課含む）

〇事業所からの説明、質疑応答

〇実施後アンケート

４　日中サービス支援型グループホーム評価票の見直し

〇各地域部会からの意見を参考に、質問内容、文言等の見直しを実施。

〇修正した書式で各地域部会で評価を実施していただく。

５　共同生活援助事業所連絡会（仮称）設立に向けた取り組み

〇参加機関

（社福）浦安荘　（社福）育成会

（社福）弘徳学園　（社福）泉学園　より各1名

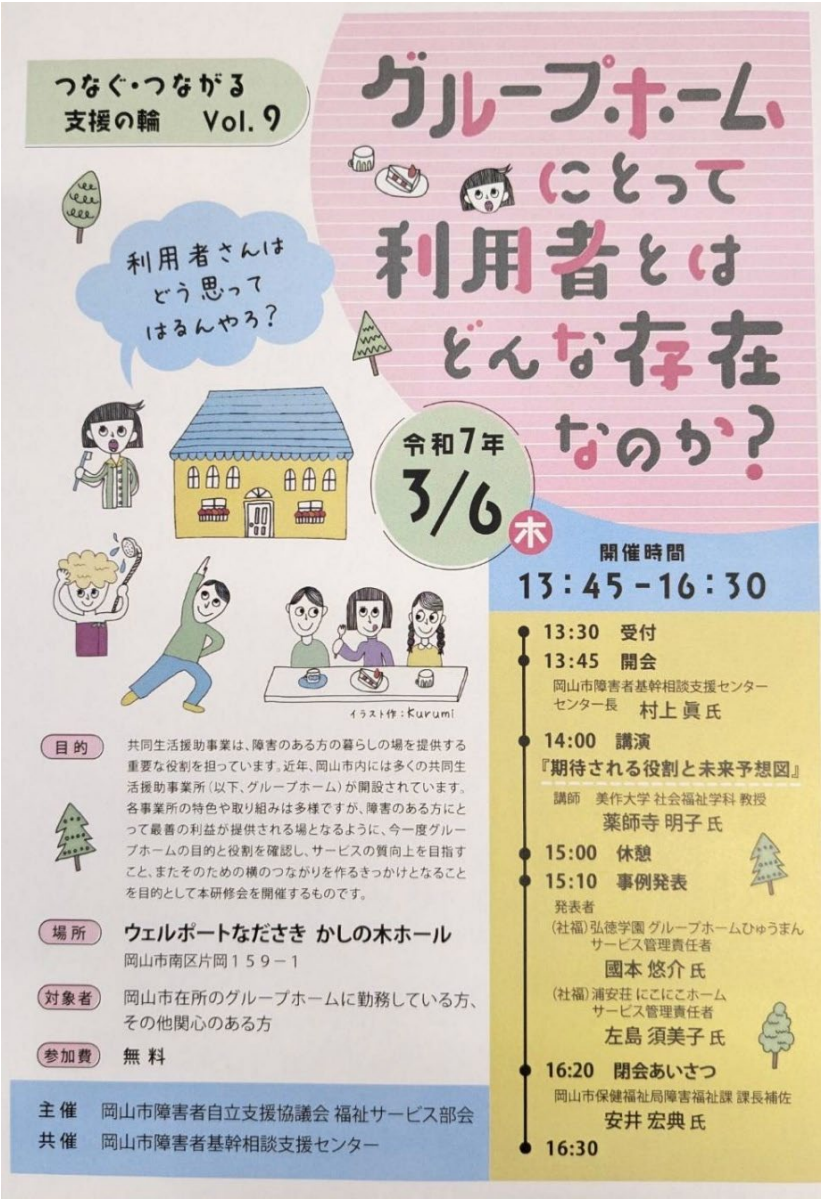
〇開催日・内容

6/25：どのような会にしていくか

8/27、10/22、12/24、1/29：研修会企画

3/25：研修会振り返り、次年度について

６－１　研修会の開催



６－２　研修会の開催

〇参加状況

共同生活援助事業所　４４名

行政　１名

福祉サービス部会　６名

６－３　参加者の声（アンケート抜粋）

回答数39件

〇講演から

・GHは選択肢の一つであり、利用者さんが主体的に生活していく場ということを改めて感じた。

・入所施設ではなく、グループホームが選ばれる意義・意味を改めて考えた。

・責任と安全で「施設」のようなGHを求められることが増えてきました。その場合やはり本人が主になりにくく、モヤモヤがありましたが今日の話を聞いてたくさんのヒントをもらえました。

〇事例発表から

・失敗する権利を支援チームを組んで支えようとした取り組みからたくさんのアイディアを学ぶことができました。

・本人の言葉を聞いて、支援のあり方について考えさせられた。「本人」がどう感じているか、それを一番に考えられる支援員でありたい。

・人的環境は利用者にとってとても大きいことだと思った。私たちにとっては職場だが、利用者は住んでいる家であることを常に思っていたい。